

# 南伊勢町バイオマス産業都市構想の概要

三重県南伊勢町、人口約1.2万人、面積約242km<sup>2</sup>

地域内のバイオマスを活用した循環型社会の創出、地域産業の活性化、災害にも強いまち、障がい者等の仕事の創出など「地域資源を生かして事業革新できるまちづくり」を目指す。

## 構想の概要

### 1. 将来像

- ① 事業・産業系食品廃棄物、生活排水汚泥のメタン発酵の推進
- ② 一般廃棄物系バイオマスと資源作物の固形燃料化推進
- ③ バイオマスを活用した耕作放棄地解消・農福連携の構築

### 2. 事業化プロジェクト

#### ① バイオマス資源を利用した循環プロジェクト

【フェーズ1（3年以内の主な取組）】

事業・産業系食品廃棄物、生活排水汚泥を主原料としたメタン発酵事業

- 原料：事業系・産業系食品廃棄物、資源作物（ヒマワリ等）
- 利活用技術：メタン発酵⇒熱・電気⇒主に施設内利用
- 消化液利用：液肥利用による農地還元（余剰分は水処理）

【フェーズ2（5年以内の主な取組）】

- 一般廃棄物系バイオマスと資源作物を主原料とした固形燃料化事業
  - 原料：一般廃棄物系バイオマス、水産廃棄物系バイオマス、資源作物、害獣、木質バイオマス
  - 利活用技術：珪臨界水処理技術を用いた高圧蒸気減菌装置による低分子化＋半炭化＋固形燃料化⇒熱⇒温浴施設、水産種苗生産・中間育成施設、農業用ハウス利用、災害時・病院・避難所
  - 資源作物（エリアンサス等）の生産：固形燃料化（副資材）⇒熱利用
- #### ② 耕作放棄地解消・農福連携バイオマスプロジェクト
- 耕作放棄地解決対策と福祉の課題（障がい者就労支援対策・高齢者生きがいつくり）をエリアンサス等の生産を通じて解決を図る農福連携事業
  - 3年以内に農地整備、農業機械の導入、エリアンサスの栽培開始
  - 障がい者福祉サービス事業所、シルバー人材センターと連携した事業の実施

### 3. 目標（10年後のバイオマス利用率）

- ・廃棄物系バイオマス：90%
  - 生活排水汚泥100% 食品廃棄物100%等
  - ・未利用系バイオマス 100%
  - 林地残材100% 害獣100%等
- ⇒バイオマス利用率の合計：95%

### 4. 地域波及効果

- ① 経済波及効果 1.8億円
- ② 雇用等の創出 60人以上（施設12人・農福連携57人）
- ③ 地域産業の活性化
- ④ CO<sub>2</sub>排出削減量 156t-CO<sub>2</sub>/年
- ⑤ エネルギーの安定確保
- ⑥ 里地里山の再生、防災・減災、森林の保全等

### 5. 実施体制

- 南伊勢町バイオマス産業都市関連課（まちづくり推進課、水産農林課、子育て福祉課、環境生活課、上下水道課）
- 連携団体（町内事業者、伊勢農業協同組合、三重外湾漁業協同組合、障がい者福祉サービス事業所、（公財）三重県農地中間管理機構、三重大学、熊本県立大学、三重県）

### 6. その他

2016年3月 南伊勢町分散型エネルギーインフラプロジェクト・マスタープラン